

オーストラリア金融政策(2018年6月)

～政策金利は据え置き。財政黒字化の達成時期は1年前倒しに～

2018年6月5日

お伝えしたいポイント

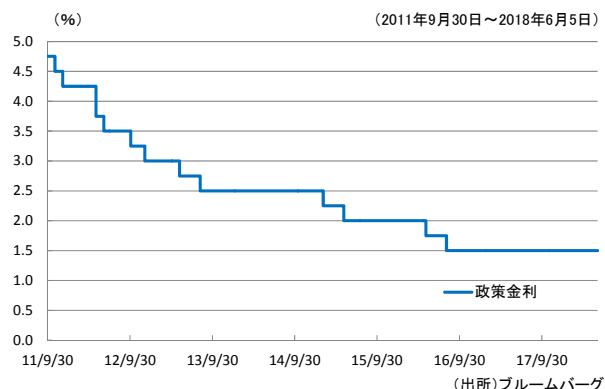
- ・ RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を1.5%に据え置き
- ・ 財政黒字化の達成時期は、1年前倒しの2019年度に変更
- ・ 引き続き、賃金上昇率は横ばいにとどまる
- ・ 豪ドルは外部要因によって左右される展開が続きやすいが、長期的には底堅い推移を見込む

<RBAは政策金利を1.5%に据え置き>

2018年6月5日(現地、以下同様)、RBA(オーストラリア準備銀行)は政策金利を発表し、1.5%に据え置きました。据え置きは事前の市場予想通りでした。

今回、声明文に前回からの目立った変化は見られませんでした。声明文では、引き続き失業率の低下とインフレ目標の達成に向けたさらなる進展が期待されるものの、この進展は緩やかなものになる可能性が高いとし、当面の政策金利の据え置きが示唆されました。

《政策金利の推移》

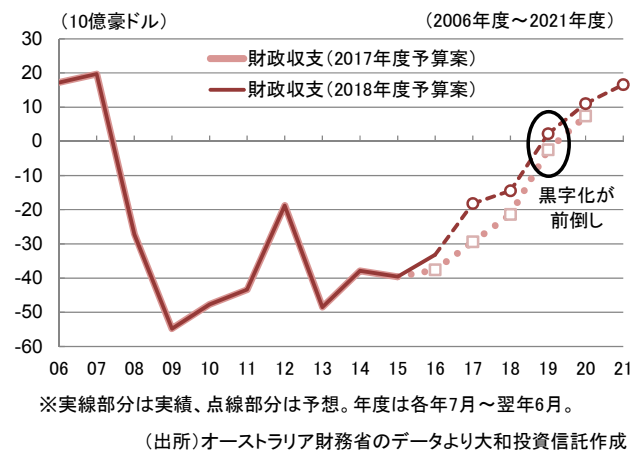


<財政黒字化の達成時期は、1年前倒しの2019年度に変更>

5月8日、オーストラリア政府は2018年度予算案を公表しました。今回の予算案では財政黒字化の達成時期が2019年度と、前回より1年前倒しにされました。また低・中所得者層への減税や、積極的なインフラ(社会基盤)投資の継続が盛り込まれました。

この背景としてオーストラリアでは2019年5月までに選挙が実施されることから、有権者の数が多い低・中所得者層への減税により、選挙に向けて現政権の支持率を高める狙いがあるとみられます。今後の減税や新たなインフラ投資によって景気刺激や雇用創出が見込まれることから、さらなる景気拡大が期待されます。

《財政収支見通しの比較》



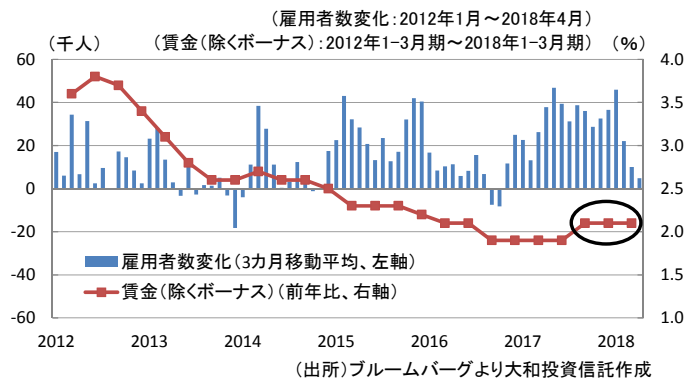
※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<引き続き、賃金上昇率は横ばいにとどまる>

2018年1-3月期の賃金指数は、市場予想通り、前年比2.1%の上昇となりました。RBAは引き続き賃金上昇率が緩やかに加速すると予想していますが、前期に続いて今回も賃金上昇率は横ばいにとどまりました。

オーストラリアでは女性を中心として労働参加率が上昇を続けており、労働市場には依然として余剰労働力が残存しているものとみられます。一方、雇用拡大のペースは足元で鈍化傾向にあります。こうしたことを背景に賃金上昇圧力は抑制された状況が続いていますが、インフラ投資などをエンジンとして、労働市場の改善が続くかどうか注目されます。

《雇用者数の変化と賃金上昇率の推移》



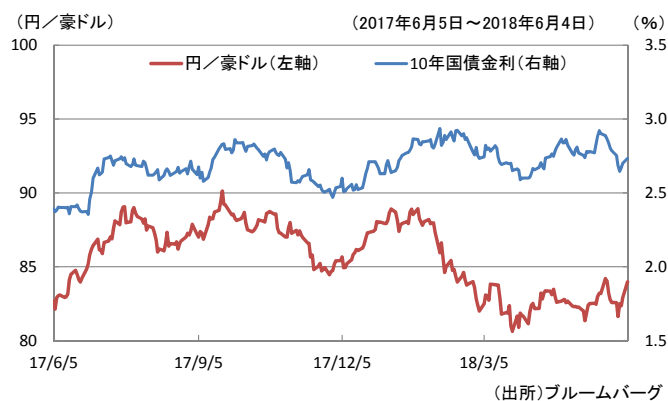
<豪ドルは外部要因によって左右される展開が続くが、長期的には底堅い推移を見込む>

足元で賃金上昇率が伸び悩んでいることなどから、インフレ率が上昇するにはしばらく時間を要するものと思われれます。そのため、当社ではRBAが年内は政策金利を据え置くと見込んでいます。

そのような環境の中で、豪ドルは外部要因に左右される展開が続くやすいとみられます。しかし長期的には、労働市場の改善を通じてインフレ圧力が高まることでRBAの利上げ観測が高まり、豪ドルは底堅く推移するものと見込んでいます。

以上

《為替と国債金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・オーストラリア金融政策(2018年5月)～政策金利は据え置き。企業の景況感は改善が進む～(2018/5/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180501_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年4月)～政策金利は据え置き。オーストラリアは景気拡大の世界最長記録をさらに更新～(2018/4/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180403_1.html
- ・ニュージーランド出張報告(2018年3月)～新政権への注目が集まるニュージーランドの「今」～(2018/3/28)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180328_1.html
- ・オーストラリア出張報告(2018年3月)～インフラ投資に沸くオーストラリア経済の「今」～(2018/3/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180320_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年3月)～労働市場は改善も政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/3/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180306_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2018年2月)～CPI上昇率が緩やかな加速にとどまる中、政策金利は当面据え置きの見込み～(2018/2/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180206_3.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年12月)～政策金利は据え置き。RBAは低金利政策を続けながら、景気・物価の改善を待つ～(2017/12/6)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171206_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年11月)～政策金利は据え置き。インフレ率の低迷から当面の政策金利は据え置きを見込む～(2017/11/7)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171107_1.html
- ・オーストラリア訪問記～鉱石大国の今をみた～(2017/11/2)
- ・オーストラリア金融政策(2017年10月)～政策金利の据え置きを継続～(2017/10/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171003_1.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年9月)～政策金利は据え置き、賃金の伸びはいまだ低調も今後期待～(2017/9/5)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170905_2.html
- ・オーストラリア金融政策(2017年8月)～政策金利は据え置き～目先の為替市場のテーマは金融政策よりも資源価格～(2017/8/1)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170801_1.html
- ・最近の豪ドルはなぜ上昇しているのか？(2017/7/21)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170721_2.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management